



平成 24 年 8 月 8 日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス  
代表者 代表取締役社長 三吉野 健滋  
(東証マザーズ・コード番号 3782)  
問合せ先 I R 室 長 鈴木 達也  
電話番号 0 5 2 - 9 5 5 - 5 7 2 0  
(URL <http://www.dds.co.jp>)

業績予想の修正および営業外損益発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 2 月 17 日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 12 月期第 2 四半期累計業績予想 (平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

[連結]

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	281	△30	△39	△43	△165 円 60 銭
今回修正予想 (B)	217	△80	△98	△99	△384 円 93 銭
増減額 (B-A)	64	△50	△59	△56	—
増減率 (%)	△22.8%	—	—	—	—
前期実績 (平成 23 年 6 月期)	237	△61	△58	△48	△186 円 20 銭

[個別]

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	281	△20	△29	△33	△127 円 09 銭
今回修正予想 (B)	217	△74	△95	△96	△373 円 13 銭
増減額 (B-A)	64	△54	△66	△63	—
増減率 (%)	△22.8%	—	—	—	—
前期実績 (平成 23 年 6 月期)	237	△52	△62	△43	△167 円 45 銭

## 2. 業績予想の修正理由について

第1四半期については計画を若干程度上回る水準で推移しておりましたが、第2四半期において当初見込んでいた一部大口の取引先案件等について、納品遅れが発生しております。

この結果、第2四半期における売上の一部を下期に計上する見込みとなり、売上、売上総利益が減少しております。また、売上拡大策の一つとして5年ぶりに展示会への出展を行った事などから、販管費が増加しております。これら結果、平成23年12月期第2四半期累計期間の業績予想を修正することとなりました。

なお、今回の業績予想の修正は主に上期での売上が下期にずれ込んだことを受けたものであり、販管費増も含めて通期では吸収できるものと見込んでおり、平成23年12月期通期業績予想に変更はありません。

## 3. 営業外損益の発生について

平成24年12月期 第2四半期連結会計期間において、為替相場の変動により為替差益が13百万円減少したため、連結で為替差益を6百万円計上いたします。なお、為替差益は平成24年12月 第2四半期末時点の為替相場によるものであり、今後の為替レートの変動により増減する可能性があります。

そのほか、連結および単体で貸倒引当金戻入額を5百万円、貸倒引当金繰入額を4百万円計上いたします。

## 4. 今後の見通しについて

営業については、既述の展示会への出展活動の再開および、昨年より開始している電話営業の強化、WEBマーケティングなどが奏功し、商談件数および潜在顧客数は確実に増えてきております。

現状進んでいる商談を確実に受注に繋げていくことで、下期における黒字化を実現し、通期の業績計画達成に努めてまいります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。実際の業績等は様々な要因により上記数値と異なる場合があります。

以 上